

第4部 くだもの部

(1) りんごコンクール(シナノスイート) (審査日:平成22年10月19日)

審査所見

長野県で育成された「シナノスイート」は平成21年の栽培面積が460haで、年々増加しております。商品化率が高い品種であり、長野県オリジナル品種の推進上重要な位置付けにあります。また、食味が良好で、消費者の評価も高く、日本農業新聞の行った調査において2010年の果実売れ筋予測ランキングで3年連続1位に選ばれております。「シナノスイート」のコンクールは、県内での産地育成と栽培技術および品質の向上を図ることを目的に平成15年から実施されており、本年は58点の出品がありました。

審査は、果樹試験場をはじめ関係機関が審査員として、厳正かつ公正に行いました。審査基準に基づき色沢、玉揃い、形状、糖度、軽欠点等を審査し、糖度測定には簡易型の光センサーを活用して食味にも配慮した審査としました。

本年は、生育初期には凍霜害、梅雨期の多雨、梅雨明け後から9月上旬までの異常高温、着色期の曇雨天とめまぐるしく変わる気象に翻弄された1年でした。特に、夏季の記録的高温気象の影響は大きく、果実の日焼け等の高温障害や着色遅れが目立ちました。そのような条件下にもかかわらず出品物には日頃の丹精が感じられ、生産者の栽培技術や出品技術を競うコンクールにふさわしい果実でありました。

出品財全体の平均糖度は、14.2%と昨年に比べると低い値でしたが、本年の状況下では良好な果実品質でありました。上位入賞品は、葉摘み、玉回しなどの管理が十分行われ、本年の気象条件でも素晴らしい着色でありました。入賞を逃した出品財も遜色ないものが多く、その差は果実の大きさのばらつき、果形不良、着色の不揃い、さびや梱包時の押し傷などの極些細な欠点によるものでした。栽培面積の増加にともない栽培技術も着実に向上していることがうかがえました。入賞に向けてはいつそうのきめ細かな管理や配慮が必要と感じられます。

出品者の皆様には県オリジナル品種の栽培に積極的に取り組み、また、天候不順を克服し、栽培技術の粋を尽くした果実を多数出品していただいたことに感謝申し上げます。受賞されました皆様にお祝い申し上げますとともに、今後とも各地域での生産振興に先導的にご尽力いただきますことをお願い申し上げます、審査所見といたします。

入賞者名簿

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
農林水産大臣賞	小林 政 夫	山ノ内町
長野県知事賞	小林 和 幸	山ノ内町
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	北 原 貞 次	中 野 市
	湯 本 将 平	山ノ内町
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	渋 澤 袈 裟 利	飯 綱 町
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	榛 葉 良 行	松 川 村
財団法人 長野県果樹研究会会長賞	須 加 尾 重 雄	高 山 村
	石 原 清 次	千 曲 市

(2) りんごコンクール(シナノゴールド) (審査日:平成22年10月29日)

審査所見

「シナノゴールド」の栽培技術及び品質の向上を目的とした本コンクールも、今年で7回目を迎えました。年々品質の向上が実感されますが、関係各位には本品種の振興に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年は県下各地から出品された55点について、果樹試験場並びに関係機関が厳正に審査にあたりましたので、ご報告申し上げます。

審査は基準に基づき、正味重量、糖度、玉揃い、形状、軽欠点果、色沢、食味等について評価いたしました。本年は生育初期の低温害、夏季の記録的猛暑など、激しい気象変動に対応を強いられた一年でもありました。このような状況の中、優れた出品物を出品された生産者の皆様に敬意を表します。

玉揃いにつきましては、全体では良く揃っていたものの、32玉階級の出品物がやや不揃いと感じられました。形状については総じて変形果が少ない傾向でしたが、三角実、楕円形、がくあ部がクラウン状のものが少数見られました。

軽欠点果ではがくあ部の裂果が見られたほか、胴サビやつるサビなど、凍霜害の影響が散見されました。押し傷やスレ傷も目立ちやすい品種ですので、さらにていねいな取り扱いをお願いします。

色沢では黄色く仕上がった優良なものがほとんどでしたが、中には青みが強いものも散見されました。黄色い着色は熟度評価の大きなポイントであり、より一層のご理解をお願いします。

以上審査の結果、7点を選出致しましたので、褒賞の授与をお願い申し上げます。「シナノゴールド」は関係各位のご努力のもと、「秋映」「シナノスイート」とともに長野県を代表する品種に育ちつつあります。年々消費者にもその名が浸透し、人気も高まりつつありますが、本年はがくあ部の裂果に代表される障害果が発生し、生産振興上の大きな課題となっています。

しかしながらこの課題を克服し、おいしい「シナノゴールド」を消費者にお届けすることが、長野県のりんご産地維持並びに生産者の経営向上には必要なことと存じます。

適期収穫並びに栽培技術の研鑽を図り、課題解決に向けて関係各位の御協力を賜りますことをお願いするとともに、更なるりんご産業の振興をご祈念申し上げ、審査所見といたします。

入賞者名簿

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
農林水産省生産局長賞	藤 澤 一 仁	松 本 市
長野県知事賞	清 水 純 好	宮 田 村
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	青 木 公 夫	千 曲 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	山 崎 勝 実	千 曲 市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	梅 本 薫	須 坂 市
	近 藤 正 茂	長 野 市
財団法人 長野県果樹研究会会長賞	庄 田 勝	長 野 市

(3) ぶどうコンクール(ピオーネ・ナガノパープル) (審査日:平成22年9月22日)

審査所見

今年10回目を迎えた本コンクールは、「シャインマスカット」を参考出品として参加をお願いし、無核品種の品質向上を推進するコンクールとなりました。

本年は、春先の気温が低く、また梅雨の長雨による病害の発生や、梅雨明けからの猛暑による日焼け、着色遅れの発生などがあり、栽培管理には苦心されたことと存じます。

本年の出品点数は「ピオーネ」30点、「ナガノパープル」43点の計73点で、多くの優れたぶどうが出品されましたことは、生産者及び関係機関のたゆまぬ努力の成果であると、敬意を表するところであります。

「ピオーネ」につきましては、房型が良好なものが多く見られました。反面、着色が赤みがかかった房が例年に比べ多く見られましたので、適正着房、房重などをご確認いただきたいと存じます。

「ナガノパープル」につきましては、肩の部分まで着粒充分な房が多くなり、房型の向上が感じられました。

また、粒肥大や着色、糖度とも良好でした。ナガノパープルの特徴は皮を気にすることなく、そのまま食べられることですので、適正な樹勢で、適期収穫を心がけていただくようお願いいたします。

審査の結果、上位入賞されたものは、房型、着色、粒肥大や食味など総合的に優れており、生産の手本となるものであります。

果樹産業を取り巻く情勢は楽観を許さないものがありますが、新品種の統一的な品質向上が図られ、長野県のぶどう産地がますます発展されますことをご祈念申し上げ、審査所見といたします。

入賞者名簿

ピオーネの部

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	樋 田 敏 孝	小 布 施 町
	飯 塚 芳 幸	上 田 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	西 澤 京 子	千 曲 市
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	柳 澤 宏 紀	上 田 市
	浅 沼 富 夫	中 野 市
財団法人 長野県果樹研究会会長賞	宮 原 尚	上 田 市
	今 井 悠 哉	飯 田 市

ナガノパープルの部

賞 の 名 称	氏 名	市 町 村 名
長野県知事賞	荒 井 延 夫	須 坂 市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	関 野 広 道	須 坂 市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	竹 内 利 広	長 野 市
	吉 澤 修	小 布 施 町
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	町 田 弘 治	中 野 市
財団法人 長野県果樹研究会会長賞	樋 田 敏 孝	小 布 施 町
	岡 田 忠 行	千 曲 市